

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路建設課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	48	交通を円滑に処理する道路網を整備する	高橋 達	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				2 人	6 人	0 人	0 人	1 人	8.68 人	929 時間	12.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
都市計画道路の整備率	58.2%	59.0%	58.2%	58.2%	58.2%
幹線市道の計画事業費に対する進捗率	36.9%	50.4%	40.8%	41.7%	42.6%
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	幹線道路・環状道路の整備
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	上赤羽根堤線道路改良事業	1	0.24	一般	1,297,000 720,360	0 0	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。事業用地の確保に向けて地権者との協議を行い令和2年度における用地買収の内諾を得た。		事業の進捗状況	用地買収率 62.0%	用地買収率 56.2%	B	変動なし			
2	香川甘沼線道路改良事業	1	0.49	一般線越	50,057,028 24,046,070	27,375,000 27,334,575	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。第Ⅱ期工区は香川小学校北側の道路整備を行った。西工区は建物2棟の補償算定を行った。		事業の進捗状況 1第Ⅱ期工区 2西工区	1道路整備完了 2用地買収率11.5%	1道路整備完了 2用地買収率11.5%	S	変動なし			
3	高田萩園線道路改良事業	1	0.27	一般	25,288,000 1,544,400	55,743,600 40,568,870	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。用地買収を行うと共に、取得済用地の暫定整備を実施した。		事業の進捗状況	用地買収率 13.0%	用地買収率 11.6%	S	変動なし			
4	市道0109号線(鶴嶺通り)歩道整備事業	1	0.19	一般	497,000 496,720	0 0	狭隘な歩道の拡幅整備を行い、歩行者や自転車等の安全確保を図る。用地買収に向けた準備を行った。		事業の進捗状況	用地買収率 43.7%	用地買収率 44.4%	B	変動なし			
5	市道0110号線(大岡越前通り)歩道整備事業	1	0.24	一般	64,103,000 56,016,696	12,009,000 10,163,339	歩道を設置し、歩行者や自転車等の安全確保を図る。第Ⅱ期工区の用地買収を行うと共に、取得済用地の暫定整備を実施した。		事業の進捗状況	用地買収・工事完了 用地測量完了(東工区)	用地買収率 28.6%	S	減少			

6	行谷芹沢線道路改良事業	1	0.22	一般	0	0	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。本路線に接続する市道8570号線との交差点設計を見直し、行谷芹沢線への反映資料を作成した。	事業の進捗状況	用地買収完了 (Ⅰ期工区)	用地買収完了 (Ⅰ期工区)	S	増加		
7	新国道線街路整備事業	1	0.19	一般	0	0	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。事業用地の確保に向けて地権者との協議を行った。	事業の進捗状況	用地買収率 91.5%	用地買収率 84.5%	B	変動なし		
8	東海岸寒川線街路整備事業	1	0.32	一般	1,518,000	5,554,000	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。下寺尾地区の用地測量を実施した。	事業の進捗状況 1幸町 2下寺尾	1用地買収率9.8% 2用地測量完了	1用地買収率9.8% 2用地測量完了	S	増加		
9	下寺尾芹沢線道路改良事業	1	0.42	一般	0	56,144,000	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。約85メートルの道路改良工事に着手した。	事業の進捗状況	用地買収率 52.6%	用地買収率 52.6%	S	変動なし		
10	浜園橋橋りょう整備事業	1	0.90	一般	19,053,000	35,613,000	橋りょうを整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。橋りょう詳細設計業務が完了した。	事業の進捗状況	【橋りょう】詳細設計継続	【橋りょう】詳細設計完了	S	増加	●	
11	市道7560号線歩道設置事業	1	0.30	一般	0	4,906,000	歩道を設置し、歩行者や自転車等の安全確保を図る。道路整備に向けた路線測量を実施した。	事業の進捗状況	路線測量完了	路線測量完了	S	増加		
合計					R元予算(円)	197,344,600								
					R元決算(円)	134,600,387								

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

近年、交付金等の道路財源が幅広く配分される傾向にあり、相対的に道路整備に係る必要な予算が確保されず、道路整備全体の進捗が大きく抑制される要因となっている。このため、更に用地買収期間の長期化を招くこととなり、供用開始が遅れ、事業効果が早期に発現できないことが大きな課題となっている。

職員の残業時間については30年度に比較し総時間で651時間から929時間となり、一人当たりで換算すると月平均9.0時間から12.9時間の増加した。対外的交渉、設計積算業務、市民要望への対応等については時間外勤務により対応せざるを得ない状況である。浜園橋橋りょう整備事業や道の駅整備推進事業など予算規模大きい事業が本格化してきており、残業時間増加の大きな要因になっている。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
10	浜園橋橋りょう整備事業	令和元年度は、浜園橋橋りょう整備事業の橋りょう詳細設計において、橋りょう技術に係る高い専門性を必要とすることから、技術支援業務を公益財団法人へ委託することで発注者の技術を補完し、業務成果の質的向上が確保され事務改善を図った。 令和2年度から約6箇年に渡り大規模な工事が実施される予定であり、引き続き、設計積算や現場監理に係るマネジメントについても専門性の高い知見やノウハウを蓄積しながら事業実施していくとともに、建設工事のコスト縮減や完成後の効率的な維持管理に繋がられるよう、技術支援業務の適正な導入を検討するなど更なる事務改善を図る。また、本業務は橋りょう技術のみならず、施工条件に制約のある仮設工や擁壁工、河川護岸工など対象とする土木技術が多岐に及ぶことから、課員全員が学びながらスキルアップを図ることで、質の高い事業成果を確保するだけでなく、人財の成長に繋がりたいと考えている。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	－	現在位置づけを行っている事業については、道路整備プログラム等に基づき事業実施の優先度が高く、市民集会等を踏まえて地域ニーズが高い事業であることから、休廃止の検討はできないものと判断している。